

## “ 視覚障害者目線からのお願い ”

かるがもの会 ホームページ作成班

\* このページでは、当会の会員の方々からいただいた声を『 お願い 』として記載しておりますので、併せてご一読いただければと存じます。

### ※ お願い① ※

● 駅や道路、建物の出入り口などにある「黄色などの点字ブロック（駅構内や周辺、交差点、公共施設内やその周囲、地下街などにある、たこ焼きのようにポコポコ盛り上がっていたり、平たい長方形が並んでいるブロックのこと）」は、視覚障害者自身が『進めるか、行き止まりか』を感じ取るための“道しるべ”です。

その上や周りでは、立ち止まったり、荷物を置かないようにしてください。

また、携帯電話やスマートフォンなどを操作しながら歩いたり、おしゃべりに夢中になって、よそ見をしながら歩かれますと、他の方や柱などと接触してしまい、大変危険です。

歩行中はなるべく周りをよく見て歩行し、視覚障害者が歩いて来たら避けてください。

目の不自由な人たちが単独歩行をしているときにぶつかってしまうと、その弾みで

『方向感覚（自分が今どの方向を向いているのか？）』

ということが分からなくなり、目的地にたどり着けなくなってしまうので、万が一にも目の不自由な人たちとぶつかってしまった場合は、

【相手がどの方向へ行こうとしていたのか？】

ということを確認して、本人が分かる位置までの誘導をお願いします。

### ※ お願い② ※

● 車を運転される方は、白杖（白い杖）や盲導犬を連れている視覚障害者が横断歩道などで渡らずに止まっているのを見かけ、道を譲って頂ける場合、

『必ず窓を開けて』

「先に渡ってください！」などの声かけをお願いします。

車の音が聞こえている間は、視覚障害者は、渡らないことが多いです。

お互いのためにも

『窓を開けての声かけ』をお願いします。

### ※ お願い③ ※

● 白杖を50センチくらい挙げていたり、手を挙げているのは

『SOS』のサイン

です。

また、キョロキョロと迷っている時、危ない方向へ向かっている時は、迷わず声をかけてください。

### ※ お願い④ ※

- 盲導犬使用者に対する手助けを行う際は、ユーザー（盲導犬使用者）本人に声をかけてください。

犬は『仕事モード』になっています。

絶対に

“触らない・声をかけない・名前を呼ばない・飲食物を与えない”

ください。

※ 犬は突然知らない人から声をかけられたり触られたりすると、仕事への集中力が途切れてしまい、ユーザーの指示に従えないため危険です。ケガをしないためにも、ご協力を宜しくお願い致します。

また、道路にゴミや、食べ物を捨てないでください。

盲導犬を含む補助犬、ペットなどが食べてしまう可能性もありますし、目の不自由な方やご年配の方、小さなお子さんなどが踏んでしまい、大変危険です。

### ※ お願い⑤ ※

- 視覚障害者でも見え方は十人十色、サポートも経験で違います。ですから、最初はあなたご自身が視覚障害者本人に尋ねてみてください。

声をかける際には、視覚障害者の肩や腕などを「トントン」と叩いてから

『何かお手伝いしましょうか？』

『何かお困りですか？』

などと言っただけだと、安心してサポートをお願いすることができます。

### ※ お願い⑥ ※

お知り合いの視覚障害者に声をかける際は「〇〇〇号室の△△です」

「××の母（または父）です」など、  
まずは  
あなたご自身のお名前などを名乗ってから  
声かけしていただけると

### 【 声 と 名前 】

が一致して覚えられます。

### ※ お願い⑦ ※

勇気を出して声をかけても、あなたの申し出を断ることがあるかも知れません。  
そんな時、  
「せっかく声をかけたのに…断られて恥ずかしい…」  
なんて思わないでください。  
たまたま、その時は必要がなかっただけで、ほとんどの場合、  
皆さんからの一声を必要としています。

### ● 視覚障害者は

『厄介・面倒な存在』

ではなく、  
“目”になる部分だけ手助けいただければ、  
あとの四覚（聴覚・触覚・嗅覚・味覚）を工夫して  
普通の方々と同じように生活することができます。

難しく考えることなく、気負わず、  
自然に声をかけていただければとても嬉しいです♪